

DCIM-USBG2 言語コード設定

▼Microsoft Windows 系 OS をご使用のお客様

DCIM-USBG2 背面の DIP スイッチを「P」に設定します。

下記のUNIX・Linux 系OSサーバに接続するための言語コード設定の必要はありません。

また、設定されている場合でも影響はありません。

▼UNIX・Linux 系 OS をご使用のお客様

本製品は、出荷時に英語キーボード設定にしておりますので、DCIM-USBG2 をUNIX サーバへ接続する際には、ご使用のキーボードに合わせて言語コードの設定とDIP スイッチ設定を行って下さい。

UNIX・Linux 系OS サーバ以外へ接続し、使用する場合には、言語コードの設定は必要ありません。

また、本言語設定の影響もありません。

言語コードの設定方法

1. DCIM-USBG2 背面のDIP スイッチを接続先がSPARC 系SUN は「S」、それ以外は「P」に設定します。
2. DCIM-USBG2 をサーバに接続します。
3. サーバの電源を入れ、X-Window を起動します。
4. Dominion シリーズ本体にUSB またはPS/2 のキーボード・マウスを接続します。
5. サーバのテキストエディタを開きます。
6. キーボード左側のCtrlキーとNum Lockキーを押すと、次のメッセージ
“keyboard layout is XX”、“mouse layout is Y”が表示されます。
7. 接続したキーボードと同じ言語コードを入力します。ステップ6で表示されたメッセージが再度表示され、新しい言語コードが保存されます。
8. 言語設定を終了する場合は、テキストエディタを終了します。
訂正する場合は、ステップ6に戻り言語コードを再入力します。
9. 設定を有効にするには、CIM への給電を一旦停止する必要があるため、サーバの電源を落として再起動または、サーバからCIM を一度引き抜きその後再度の接続が必要です。

言語設定コード表:

00	Not support	13	International (ISO)	26	Swedish
01	Arabic	14	Italian	27	Swiss/French
02	Belgian	15	Japan	28	Swiss/German
03	Canadian-Bilingual	16	Korean	29	Switzerland
04	Canadian-French	17	Latin American	30	Taiwan
05	Czech Republic	18	Netherlands	31	Turkish
06	Danish	19	Norwegian	32	UK
07	Finnish	20	Persian	33	US(標準)
08	French	21	Poland	34	Yugoslavia
09	German	22	Portuguese		
10	Greek	23	Russia		
11	Hebrew	24	Slovakia		
12	Hungary	25	Spanish		

注) DCIM-USBG2をお使い頂く際には、映像出力を**セパレート出力**に設定して下さい。コンポジット出力の場合にはモニタには映像が表示されません。